

平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

1. 学校概要

学校名 愛知教育大学附属幼稚園

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

所在地 〒461-0047
愛知県名古屋市東区大幸南1-126

E-mail www-k-kinder@m.auecc.aichi-edu.ac.jp

Website _____

児童生徒数 男子 77 名 女子 46 名 合計 123 名
 児童・生徒の年齢 3歳～6歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

1) 作物栽培

子どもたちが、季節に応じて、幼稚園の花壇とプランターにトマトやナス、キュウリ、ピーマン、オクラ、タマネギ、サツマイモ等の野菜の苗やパンジーの苗を植え、水やりをして育てました。また収穫できた野菜を食べました。

2) 動物飼育

アイガモ2羽・ウサギ3羽を飼育しています。子どもたちが毎日人参やキャベツを刻んだり、園庭に生えている草をちぎったりしてあげています。

また、広いウサギのサークルにウサギを放し、子どもたちがウサギが走り回る様子を間近で見るほか、抱き上げたり膝の上に乗せたりして直接触り、ウサギの毛の柔らかさ・体の形・重さを体感したり、ウサギへの愛着心を育むことができました。

園の入口にあるアイガモ牧場と名付けた広いサークルの中を自由に動き回ったり、コンクリートの池を泳いだりするアイガモの様子は、在園児とともに弟妹や保護者も一緒に楽しんで見ることができ、親子のほっと和む触れ合いのひとつとなります。

3) 芋掘り

毎年、大学の自然観察実習園にバスで出かけて行われている年長組のジャガイモ掘り、年中組のサツマイモ掘りを28年度も実施しました。幼児教育専修の学生さんにも手伝ってもらいながら、子どもたちは、自分の手やスコップで土を掘って大きな芋を沢山掘り上げることができました。子どもたちが収穫したジャガイモは、園の花壇で採れたタマネギや買って来た人参等と一緒に、年長児が自分たちで調理してカレーを作り、全学年でカレー会食を楽しみました。また、ジャガイモもサツマイモも、職員にふかしてもらい、全学年おやつとして食べ、収穫の喜びを味わいました。

畑にいる虫も含めて、土や植物や昆虫と触れ合う体験を通して、自然と交わる喜びや自然に対する好奇心を育むことができました。

4) ビオトープ清掃

6月にビオトープ協会の方に協力していただき、園内のビオトープの池を年長児が池さらいをしました。池の水をすくって、ヤゴ、メダカ、タニシなどの生き物を種類ごとに分けて水槽に入れました。池の中の生き物を間近に見たり触れたりする日ごろできない体験をして、子どもたちは驚きや発見に大きく心動かしていました。生き物についてビオトープ協会の方から説明をしてもらったり、疑問に答えてもらったりして、池の生き物に対する関心を高めることができました。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）